

平成 26 年 10 月 22 日  
株式会社リサーチ・アンド・ディベロップメント

## 身体の衰えを感じ始める年齢は？

シニアの身体機能の変化と老化

～ 『R&D シニア基礎研究レポート』より ～

株式会社リサーチ・アンド・ディベロップメント(所在地:東京都新宿区、代表取締役:五十嵐幹)は、生活者総合ライフスタイル調査『CORE』やシニアのリアル・コミュニティ『iDOBATA KAIGI』などの独自データに加え、国や組織が公開する既存データを盛り込んだ、現在のシニア像を理解するための『R&D 基礎研究レポート』を発行いたしました。

そのレポートから一部結果をご紹介します。

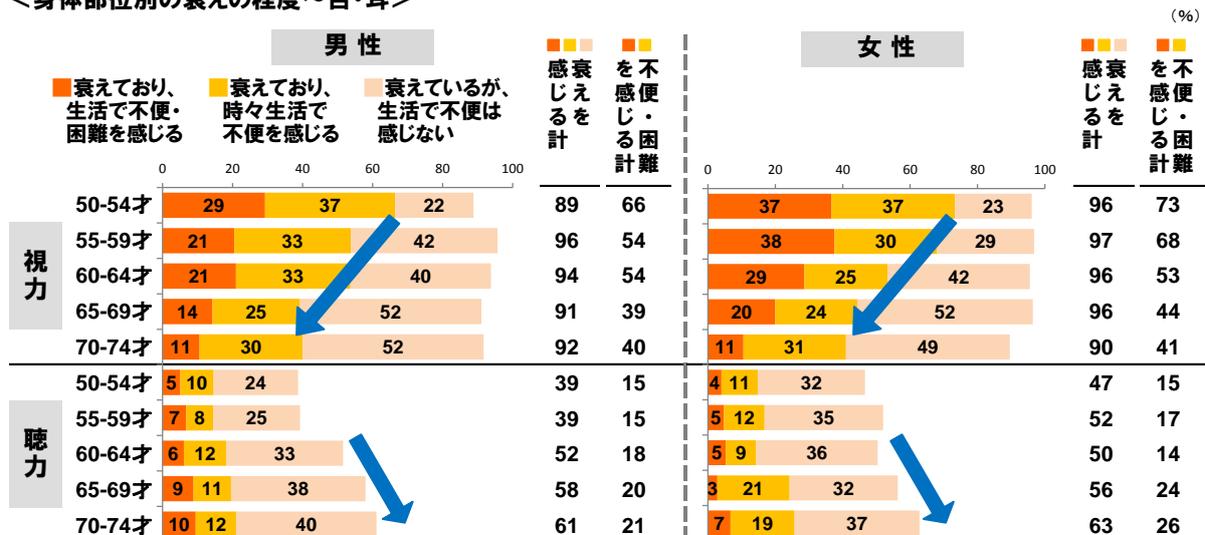
この調査結果のレポート(『R&Dシニア基礎研究レポート』)は 10 月 1 日より標準価格 300,000 円にて販売しております。詳細につきましては弊社HP <http://www.rad.co.jp/> をご覧ください。

### 加齢に伴う身体機能の変化

#### ■ 視力の衰えは年齢があがるにつれ慣れる。聴力は60代から衰え実感。

- 視力の衰えは、男性・女性ともに9割以上が50代から実感していると回答しています。「生活で不便・困難を感じる」レベルまでの衰えは、男性・女性ともに50代前半から70代前半にかけて20pt以上弱まります。
- 一方、聴力は、男性・女性ともに60代前半で50%以上が「衰えを感じる」と回答し、その意識は年代があがるにつれて強まります。

#### <身体部位別の衰えの程度～目・耳>

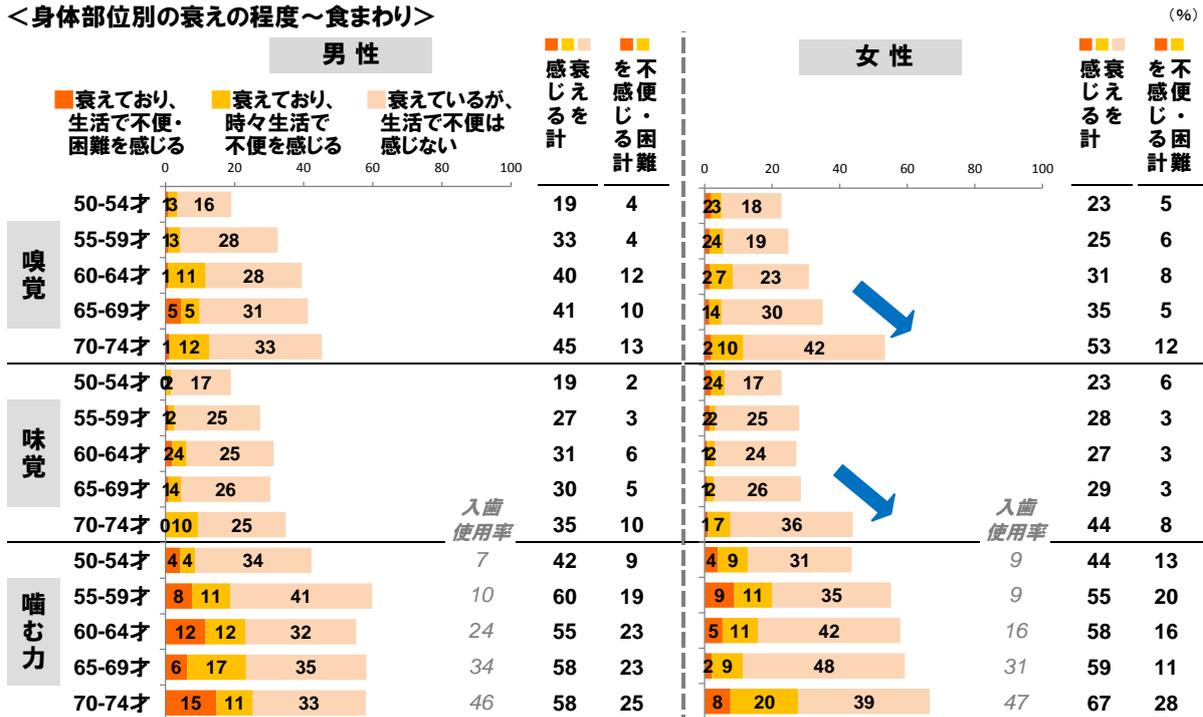


※『CORE2013 (2012.10)』より

■ 70代に入ると嗅覚・味覚はガクッと衰えを実感し(特に女性)、咀嚼における不便さも顕著に。

- 嗅覚・味覚の「衰え」は、女性の60代後半から70代前半にかけて15pt前後、「衰え」の実感が強まります。
- 男性・女性ともに70代の約半数が入歯を使用すると回答し、嚙む力に対しても、特に女性70代前半で「不便・困難」を感じています。(60代前半で11%、70代前半で28%と17pt上昇。)

<身体部位別の衰えの程度～食まわり>

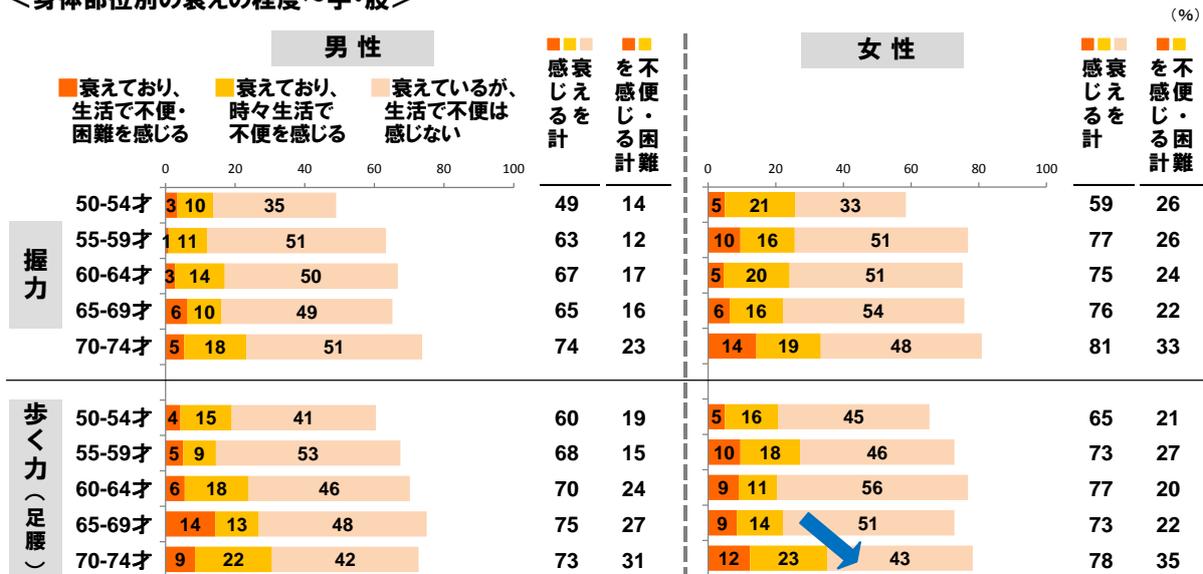


※「CORE2013 (2012.10)」より

■ 握力や足腰の衰えは、女性の方が早く、50代からかなりの人が衰えを実感。  
70代に入ると不都合も急増。

- 女性の50代前半から約60%が、握力や足腰の「衰え」を実感し、特に60代後半から70代前半にかけて、「生活で不便・困難を感じる」という回答は13pt上昇しています。

<身体部位別の衰えの程度～手・肢>



※「CORE2013 (2012.10)」より

R&D 発 シニアインサイト

◇足腰、握力、嗅覚、味覚・・・毎日の生活の中でフル活用するこれらの能力に対し、特に70歳以上の女性は自分の衰えを敏感に感じています。買い物に行く時の足腰の不自由さ、調理をする際のキャップの開閉や袋の開封のしにくさ、出来上がった料理の味に対する違和感・・・今まで問題なくできた家事のあちこちに不具合を感じている様子がうかがえます。

◇そんな自分にちょっとイラツとして、でも年のせいかな、とあきらめて・・・日常で感じるこんな「ちょっとした不具合」には、何らかヒントが隠されているかもしれません。「はっきりした不便・不都合」になる前の「ちょっとした不具合」現象を集めて、シニアにどんなサポートができるかを考えてみませんか。シニアの生活に密着するアプローチもR&Dがお手伝いいたします。

**■生活者総合ライフスタイル調査システム『CORE』■**

- 調査エリア 首都圏 40km圏
- 調査手法 訪問留置調査(一部郵送調査併用)
- 調査対象 18～79 歳男女個人
- サンプル設計 3000 サンプル(回収ベース)
- 調査時期 毎年1回 10月実施

※『CORE』は、株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメントの登録商標です。

**■シニアのリアル・コミュニティ『iDOBATA KAIGI』『iDOBATA-Z』■**

- 調査手法 オフライン・コミュニティ
- 調査対象 65～76 歳男女個人
- サンプル設計 コミュニティ・メンバー数 女性15名/男性8名
- 開催時期 1回 2時間 毎月2回 (見学無料、事前予約制)

※『iDOBATA KAIGI』『iDOBATA-Z』は、株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメントの登録商標です。

**■会社概要■**

会社名： 株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメント  
所在地： 〒163-1424 東京都新宿区西新宿3-20-2  
代表者： 代表取締役社長 五十嵐 幹  
資本金： 30,000千円  
設立： 1968年1月17日  
URL： <http://www.rad.co.jp>  
事業内容： マーケティング・リサーチの企画設計、実施及びコンサルテーション  
経営・マーケティング活動の評価及びコンサルテーション

《引用・転載時のクレジット表記のお願い》

本リリースの引用・転載時には、必ず当社クレジットを明記いただけますようお願い申し上げます。

〈例〉「(株)リサーチ・アンド・ディベロプメントが実施した調査によると・・・」

**■本資料に関するお問い合わせ先■**

株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメント セールスプランニング部 坂根  
TEL：03-6859-2281 e-mail：radnews@rad.co.jp

**■調査内容に関するお問い合わせ先■**

株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメント マーケティングソリューション部 高田  
TEL：03-6859-2281 e-mail：radnews@rad.co.jp